

「もりやま障害福祉プラン 2024」(仮称) 策定に係るアンケート調査票

(障害者団体等対象)

—はじめに—

平素は、障害福祉の推進にご尽力いただき、誠にありがとうございます。現在、守山市では、「もりやま障害福祉プラン 2024」(仮称)の策定を進めているところです。このたび、各関係団体様のご意見を広くお伺いさせていただくため、アンケート調査を実施いたします。

このアンケート調査票は、障害のある方を取り巻く現状や課題、今後の方向性等に関する意向をお伺いするものです。

お一人のご意見だけでなく、貴団体の皆さまや利用者・家族の方々のお考え等を含め、総合的な現状をお聞かせください。

お忙しいところ誠に恐れ入りますが、ご協力をお願いいたします。

令和5年3月

守山市

—ご記入にあたってのお願い—

1. それぞれ該当する項目をご記入ください。
2. 本調査票は、マイクロソフト Word で作成しています。データ入力を希望される場合は、様式データを提供いたします。
3. データによる提出の場合は、以下のアドレスにご送付ください。
Eメール：shogaifukushi@city.moriyama.lg.jp
4. ご回答は、令和5年4月24日(月)までに守山市役所 健康福祉部 障害福祉課にご提出をお願いします。

【調査に関する問い合わせ先】 守山市 健康福祉部 障害福祉課

〒524-0013 滋賀県守山市下之郷三丁目2番5号

守山市福祉保健センター (すこやかセンター)

電話番号：077-582-1168 FAX：077-581-0203

■貴団体の活動内容、設立年月日、活動内容、最新の会員数等について、お聞かせください。

令和5年3月1日現在

主に受け入れを行っている障害種類に○	身体 () 知的 精神 障害児 その他 ()		
団体名			
代表者名		記入者名	
連絡先	所在地： 電話： FAX： e-mail：		
活動内容			
設立年月日			
会員数	() 人		

■以下の設問についてお答えください。

問1 障害のある人への市民の理解を深めるためには、何が必要だと思いませんか。
(あてはまるもの上位3つに○)

<ol style="list-style-type: none"> 1. インクルーシブ教育（一人一人に応じた指導や支援に加え、障害のある者と障害のない者が可能な限り共に学ぶこと）を拡充する 2. 障害のある人もない人も共に参加するイベントを開催する 3. 学校での福祉人権教育を充実する 4. 障害に関する講演会や学習会等を開催する 5. 企業が積極的に福祉活動に携わる 6. マスコミを通じて障害のある人の生活をもっとよく知ってもらう 7. 市の広報紙等で障害や障害のある人への理解を呼びかける 8. 障害のある人が積極的に社会に進出する 9. わからない 10. その他 () 11. 理解を深める必要はない
--

問2 障害のある人が地域や社会に積極的に参加していくためには、何が必要だと思いますか。
(あてはまるもの上位3つに○)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 参加しやすい配慮 | 6. ボランティア等の育成 |
| 2. 行事・活動の充実 | 7. 家族の協力 |
| 3. 施設の改善 | 8. 障害のある人の意欲 |
| 4. 交通機関・道路の改善 | 9. その他 () |
| 5. 広報・福祉教育の充実 | 10. 特にない |

問3 どのようなところに、障害者に対する差別・偏見、または配慮のなさを感じますか。
(あてはまるもの上位3つに○)

- | | |
|---------------|--------------------|
| 1. 仕事や収入 | 6. 街中等での周囲の視線 |
| 2. 教育の場 | 7. 店等での対応・態度 |
| 3. 冠婚葬祭 | 8. 交通機関の利用 |
| 4. スポーツ・趣味の活動 | 9. その他 () |
| 5. 地区の行事・集まり | 10. 差別・偏見を感じることはない |

問4 障害者やその家族から日常の困りごとや問題等に関する相談を受けたことがある場合、その相談内容で多かった内容はどのようなものですか。(あてはまるものすべてに○)

- | | |
|--------------------|----------------|
| 1. 障害福祉サービスの利用について | 6. 将来のこと |
| 2. 教育や進路等について | 7. 支援方法について |
| 3. 就労や復職について | 8. 日々の生活上の困りごと |
| 4. 人間関係 | 9. その他 () |
| 5. 生活費や収入について | 10. 相談を受けた事がない |

問5 障害のある人の相談支援の充実のために何が必要だと思いますか。
(あてはまる上位3つに○)

- | | |
|-----------------------------|---------------------|
| 1. 計画相談事業所の充実 (セルフプラン率の減少) | 6. 相談員が自宅を訪問して相談できる |
| 2. 計画相談員の質の向上 | 7. 基幹相談による計画相談員への支援 |
| 3. 電話・FAX・電子メール等で相談できる | 8. その他 |
| 4. 相談員から定期的に困りごとがないか連絡をもらえる | |
| 5. 障害のある人やその家族等同じ立場の人に相談できる | |

問6 障害のある人が市役所や基幹相談支援センター等の公的な相談窓口に気軽に相談するためには、何が重要だと思いますか。(あてはまるもの上位3つに○)

1. 電話・FAX・電子メール・インターネットで相談できる
2. 身近な地域で相談できる
3. 相談員が自宅を訪問して相談できる
4. 休日や夜間に相談できる
5. 専門性の高い内容でも相談できる
6. どんな内容でも1つの窓口で相談できる
7. 相談員から定期的に困り事がないか連絡をもらえる
9. プライバシーが守られる環境になっている
10. 相談窓口に関する情報提供体制が充実している
11. 家族それぞれの困りごとを一体的に相談できる(祖父母・親・子の課題を包括的に相談)
12. その他 ()
13. 特にない

問7 障害のある人の権利擁護支援の充実には何が重要だと思いますか。

(あてはまるもの上位3つに○)

1. 成年後見制度の周知・広報活動
2. 消費生活相談の周知・広報活動
3. 虐待防止に関する周知・広報活動
4. 市民の制度理解の促進
5. 地域社会で連携し支える仕組みづくり
6. 関係者(行政・施設職員等)に対する研修
7. 手続きの負担軽減(手続き支援)
8. 相談窓口や相談体制の充実
7. 多職種連携による相談支援体制の構築
8. その他 ()
9. 特にない

問8 障害のある人の生活をよりよくするためには、どのような支援が必要だと思いますか。
(あてはまるもの上位3つに○)

1. 日中、外出をするために介助をする支援の充実
2. 外出中に困ったことがあった時に助けてくれる支援
3. 道路や公共施設、公共交通機関等へのユニバーサルデザインの配慮
4. 道路や駅、施設等にある、電柱や放置自転車、柵、荷物等の障害物の撤去
5. 多目的トイレの増設・更なる整備
6. 意思疎通支援者の充実(確保・養成)
7. 障害に配慮した情報発信(点字や音声コード等)
8. 困った時に頼れる相談窓口
9. 周囲の人の障害に対する理解促進
10. 他の人との交流機会の充実
11. 移動手段の充実
12. その他 ()
13. 特にない

問9 障害のある人が働くためには、どのような支援が必要だと思いますか。
(あてはまるもの上位3つに○)

1. 仕事探しから就労までの総合的な相談支援
2. 働くための知識・能力を身につける職業訓練
3. 職場を理解するための就労体験
4. 求人情報の提供等や仕事を見つけるための支援
5. 障害の特性にあった職業・雇用の拡大
6. 短時間勤務や在宅勤務等の柔軟な勤務体制
7. 通勤経路のバリアフリー化
8. 障害理解を促進するための職場への働きかけ
9. ジョブコーチ等職場に定着するための支援
10. 職場環境のバリアフリー化
11. 生活リズムや体調管理等の日常生活に関する支援
12. その他 ()
13. 特にない

問 10 災害時に障害のある人へ必要な支援は何だと思えますか。

(あてはまるもの上位3つに○)

1. 災害情報や避難情報を正しく伝達できる情報提供体制
2. 適切な避難行動ができるような情報提供体制
3. 自力で避難ができない障害のある人が、スムーズに避難できるための支援
4. 避難場所で生活ができるための介助の提供
5. 避難場所で被害状況や支援物資等の情報を正しく伝達できる情報提供体制
6. 避難場所での多目的トイレ等の設置
7. 福祉避難所の増加・充実
8. 障害特性に応じた物理的・精神的配慮
9. 避難場所で適切な治療が受けられる(必要な薬をもらうことも含む)医療提供体制
10. 避難場所における周囲の人々の障害のある人への理解促進
11. 障害のある人が参加できる避難訓練の促進
12. その他 ()
13. 特にない

問 11 障害のある子どもへ必要な支援は何だと思えますか。

(あてはまるもの上位3つに○)

1. 障害を早期発見・早期治療できる医療提供体制の整備
2. 障害の早期発見・早期支援を行える支援体制の整備
3. 適切な処置や医療を継続的に受けることができる体制の整備
4. 乳幼児期の子どもに対する発達支援体制の準備
5. 放課後等デイサービス等の、小学校就学以降の障害のある子どもの居場所づくりの強化
6. 特別支援学級や特別支援学校の充実
7. インクルーシブ教育の推進
8. 就学相談等ができる相談体制の強化
9. 就職(一般就労)のための相談や訓練ができる体制の整備
10. 多様な人々と触れ合うことができる機会の充実
11. 周囲の子どもに対する障害への理解促進
12. その他 ()
13. 特にない

問 14 貴団体が活動上で困っていることは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 時間的な負担が大きい
2. 体力的な負担が大きい
3. 新規メンバーの加入が少ない
4. メンバーに世代等の偏りがある
5. メンバーが仕事・家事等で忙しい
6. 役員のなり手がいない
7. 活動メンバーの専門性が不足している
8. 活動に必要な情報が集まらない
9. 情報発信する場や機会が乏しい
10. 障害者のニーズに合った活動ができていない
11. 他の団体と交流する機会が乏しい
12. 会議や活動の場所の確保が難しい
13. 財源の確保が難しい
14. 活動がマンネリ化している
15. 行政との連携が取りにくい
16. 社会福祉協議会との連携が取りにくい
17. 自治会との連携が取りにくい
18. その他 ()
19. 特にない

問 15 貴団体が活動をするうえで行政に支援してほしいことは何ですか。
(あてはまるもの上位3つに○)

1. メンバー・担い手を増やすための周知やマッチング事業の実施
2. 団体間での交流機会の提供
3. 社会福祉協議会や医療機関等との連携が取れるような体制づくり
4. 行政との連携が取れるような体制づくり
5. 専門的な知識を得るための勉強会や研修の実施
6. 情報発信する場や機会の提供
7. 活動をする場所(公民館や市民ホール等)の提供
8. その他 ()
9. 特にない

問 16 その他、障害福祉に関する事で思うことや感じる事、要望や提言等がありましたら、ご自由にお書きください。

調査は以上で終了となります。お忙しい中ご協力いただき、ありがとうございました。

